

[成果情報名] 鶏舎における漆喰と平板を用いた簡易なネズミ侵入防止対策の効果

[要約] 鶏舎内へネズミが侵入することでウイルス等の病原体が持ち込まれる可能性が高まるが、市販資材の漆喰や平板を用いたネズミ侵入防止対策は、1000羽程度規模の鶏舎では1人で簡易に行うことができ、ネズミの捕獲数も大きく減少できる。

[キーワード] ネズミ、市販資材、侵入防止対策

[担当] 長崎県農林技術開発センター・畜産研究部門・中小家畜・環境研究室

[代表連絡先] 電話 0957-68-1135

[分類] 研究成果情報

[背景・ねらい]

近年の養鶏業界は高病原性鳥インフルエンザの脅威に晒されている。鶏舎内へのネズミの侵入は、ウイルス等の病原体が持ち込まれる原因になる可能性があり、侵入防止対策として鶏舎の屋根の隙間または壁面の破損箇所を修繕する必要があるが、コストや作業時間の面で十分な対策を実施できない場合がある。

そこで、漆喰や平板を用いたネズミ侵入防止対策を実施し、その効果について明らかにすることを本研究の目的とする。

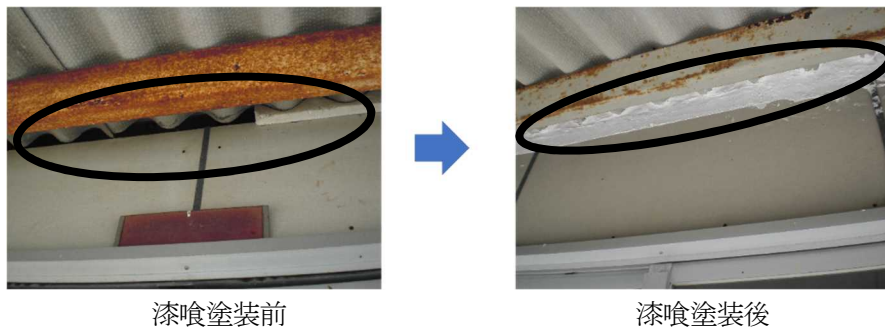
[成果の内容・特徴]

1. 市販資材の漆喰（消石灰が主原料）と平板を用いて鶏舎の隙間を埋めることで、既存の鶏舎（1000羽程度）におけるネズミ侵入防止対策は1人作業で労働時間は7時間以下である（図1、図2、表1）。
2. 漆喰と平板を用いた簡易なネズミ侵入防止対策をすることで、鶏舎内のネズミの捕獲数は減少する（図3）。

[成果の活用面・留意点]

1. 本成果は簡易なネズミ侵入防止対策の技術として活用できる。
2. 鶏舎の破損状況で条件が異なるが、漆喰の塗装面積が2.2㎡程度であり、廃材の平板を使えば9,000円程度のコストで行うことができる（表1）。
3. すでにネズミが鶏舎内に生息している場合も考慮して、殺鼠剤や粘着剤の設置も必要である。
4. 鶏舎のオールアウト時に市販のネズミ忌避剤（燻煙タイプ）を併用することで、侵入防止対策はより効果的になる。

[具体的データ]

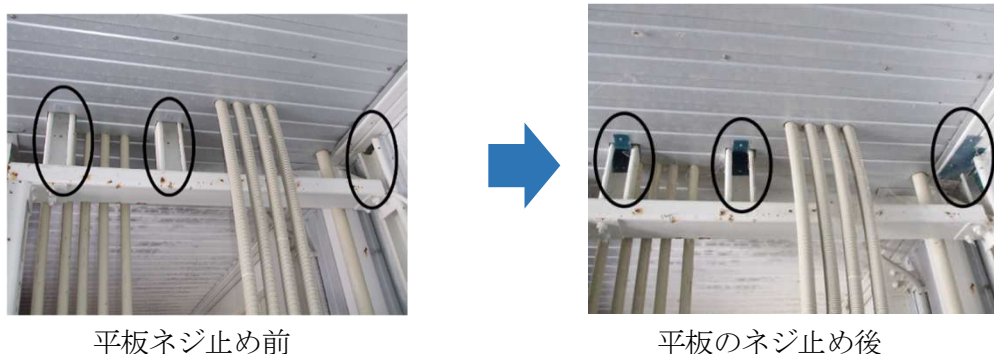


漆喰塗装前

漆喰塗装後

図1 漆喰塗装によるネズミ侵入防止対策の状況

- 1) 畜産波板と外壁に生じる隙間に市販の漆喰（消石灰が主原料）を塗装した。
- 2) 漆喰 10kg に対して水 7.5L を混ぜよく練り合わせて使用した。



平板ネジ止め前

平板のネジ止め後

図2 平板を用いたネズミ侵入防止対策の状況

- 1) 廃材の平板（トタン製のチックガード）を 5cm×10cm 程度に成型し、鶏舎内の破損箇所にもネジ止めた。

表1 ネズミ侵入防止対策にかかるコスト試算

鶏舎	漆喰塗装面積 (m ²)	作業時間 (時間) ¹⁾	労務費 (円/日) ²⁾	材料費 (円) ³⁾	計 (円)
育すう舎 (1200羽規模)	1.8	6	4,650	3,000	7,650
セミウインドレス舎 (1000羽規模)	2.2	6.85	5,309	3,430	8,739

1)作業は1人で行うものとして算出

2)長崎県労務費(軽作業:6,200円/日)より

3)材料費は漆喰の購入費用

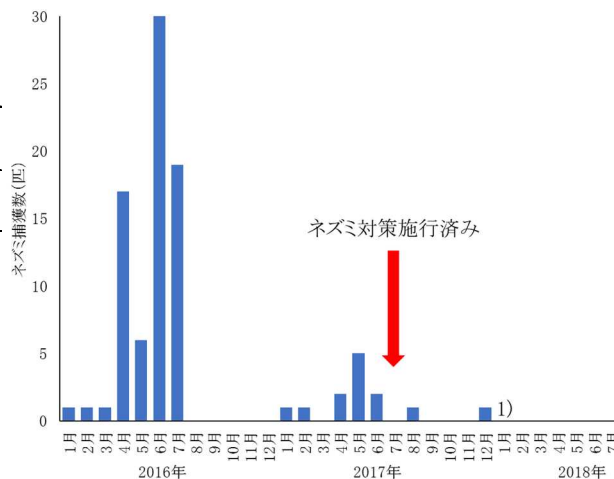


図3 セミウインドレス鶏舎におけるネズミ捕獲数推移

- 1) 2018年1月16日～1月18日にかけて、鶏舎内にトレイルカメラを設置し、ネズミが生息していないことを確認した (松永将伍)

[その他]

予算区分：県単

研究期間：2016～2018年度

研究担当者：松永将伍、高木英恵、西山倫、宇土力